

知っておいて欲しい事項 (災害に備えて)

災害時(水害等)には、

危険な場所にいる人は避難することが原則です。

- 避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校等指定避難場所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- 食料・飲料水等の他、マスク・消毒薬・体温計を持参すること。自分自身の備蓄品は常に用意しておくように(避難場所には、これら等の備蓄品は準備できない)。
- 車での移動は危険であるが、やむを得ず車中泊避難する場合は、その駐車場所は安全か確認する、又エコノミークラス症候群の対策は考えておいて下さい。
- 早い時期での避難場所に困った時には、その地域の防災担当者に相談して下さい。
- 熱がある又は強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある場合には、速やかに避難場所のスタッフに報告し、その指示に従って下さい。
- 避難場所での衛生管理や健康管理は (スタッフ共々考えておきたい事)
 - ・手洗いの徹底
 - ・マスクの着用
 - ・十分な換気
 - ・お互いの社会的距離の確保
 - ・消毒用エタノール等の準備
 - ・毎朝検温等、自分自身の健康管理
 - ・可能な限りマスクの準備
 - ・お互い様と言う気持ちで、全員で協力して